

川井など只見川流域には、更新世以後につくられた数段の河成段丘が発達し、その段丘面の下には、砂岩層、礫岩層、軽石層などの段丘堆積物がみられます。

このように、高郷の地質の特徴は、

- * 中新世以後の地層が、ほぼ連続的に分布して、それが良く見える、
- * 化石が豊富に産出し、その中には学術的に貴重なものが多い、
- * 環境の変遷が良くわかる地層・化石が多い、ことです。

次に、時代の異なる地層・岩石ごとに説明しましょう。

さがん でいがん
砂岩・泥岩

岩石が風化されて、さまざまな大きさに砕かれた物質を砕屑物さいせつぶつといい、大きさによって、表のように分けられます。それぞれが堆積して固まった岩石を「泥岩」、「砂岩」と呼んでいます。これらは砕屑岩さいせつがんのなかまですが、他に火山砕屑岩、生物岩、化学岩があり、これらを含め、一括して堆積岩たいせきがんといえます。ところで、岩石は一般に、堆積岩、火成岩、変成岩に分けられますが、高郷に分布する岩石は次のものです。

- ◎ (堆積岩 泥岩、砂岩、礫岩、凝灰岩ぎょうかいがん、凝灰角れき(礫)岩、軽石質凝灰岩かるいしつぎょうかいがん、亜炭あたん、ケイソウ土)
- ◎ 火成岩 (花コウ岩、閃緑岩、流紋岩)

たいせき たいせきがん
堆積物と堆積岩

堆積物		堆積・固結	堆積岩の種類	
砕屑物	れき 2mm	→	れき岩	砕屑岩
	砂 1/6mm		砂岩	
	泥		泥岩→より固くなったもの頁岩	
火砕山屑物	火山れき 火山灰など	→	集塊岩 凝灰角れき岩 凝灰岩	火砕山屑岩
自然作用の化学物的産物	岩塩	→	岩塩	化学岩
	石灰物質 珪酸物質		石こう 石灰岩	
生遺物の	動物植物	→	チャート	生物岩
			石油、カッ鉄鉱層 石炭、珪藻土	